

1971年6月17日第三種郵便物認可(毎月六回5の日・0の日発行)

SSK 無何有郷通信 2020年11月30日発行 SSK通巻第5493号

SSK

むかうのさとつうしん  
社会福祉法人上州水土舎  
LETTERS FROM NOWHERE  
知的障害者授産施設水土舎  
2020年12月7日

# 無何有郷通信

## 通巻29号



宗谷岬



羅白岳



大谷観音



大桁山



霧ヶ峰



北八ヶ岳

白駒の池

## 御歳暮特集号

- ◇ 赤城屋の受注出荷管理システム構築の試み～ヒューマンエラーを低減させるために～
- ◇ 地域生活を支えるグループホームの暮らし～暮らしに必要なサービスとお金～
- ◇ 二〇二〇年の水土舎の行事を振り返って





水土舎のブルーベリー



水土舎のジャム三種



水土舎の平飼有精卵

# 赤城屋

## Akagi-ya Wurst Ham

Der Metzgerei aus Munchen nach Akagiya  
Weiße Rose/Rote Burg

富岡市後賀723-7

Phone 0274-64-1254 / E-mail akagi-ya@xp.wind.jp

**黒毛和牛本来のやわらかさと芳醇な風味を  
塩釜に閉じ込めた逸品です。**

**塩釜焼き  
ローストビーフ**

赤城屋

赤城屋 黒毛和牛	塩釜焼モモ肉ローストビーフ	210g、450g
赤城屋 上州牛	塩釜焼モモ肉ローストビーフ	200g、300g、400g

群馬県産

### 上州黒毛和牛サーロイン・ローストビーフ

口の中であとろける旨味と芳醇な味わいをご堪能下さい。

赤城屋 黒毛和牛 サーロインローストビーフ 200g、300g、400g

群馬県産

### 黒毛和牛モモ肉ローストビーフ

やわらかな肉質と肉に閉じ込められた旨味をご堪能下さい。

赤城屋 黒毛和牛 モモ肉 200g、300g、400g

群馬県産 上州牛モモ肉の大きなハンバーグ

上州牛のジューシーな旨味と濃厚な味わい深さが凝集されています。

赤城屋

赤城屋 上州牛モモ肉100%と玉ねぎだけで作りまし 160g×6個、160g×4個

群馬県産

### 上州牛モモ肉ローストビーフ

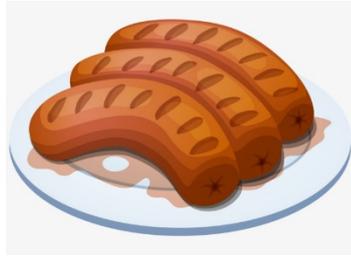
人気のローストビーフです。  
ジューシーな旨味をご賞味下さい。

赤城屋 上州牛 モモ肉 200g、300g、400g

## 赤城屋の受注出荷管理システム構築の試み 「ヒューマンエラー」を低減させるために

青木 正利

水土舎のハム・ソーセージ・ロー  
ストビーフは、赤城屋というブラン  
ド名のもと、大変ありがたいことに、  
大手ギフト通販会社様、大手百貨店  
様等とお取り引きいただいております。  
また、昔からの顧客様ばかりで



なく、赤城屋の  
ホームページか  
らのお客様のご  
注文も、承る機  
会が多くなつて  
まいりました。  
さて、今年の  
夏、赤城屋にと  
つて重大な失態  
が出来してしましました。

お客様から配達日及び時間指定  
で承った注文の商品は、通常、ヤマ

ト運輸の宅急便サービスレベル一覧  
表を参考に、指定された配達日の前  
日、もしくは前々日に、出荷（運送  
会社に引き渡し）いたします。

しかし、今夏のある日、四つの商  
品の出荷漏れ事案が発生してしま  
いました。出荷漏れに気づいたのは、  
お客様がご指定になった配達日当日  
の朝のことでした。首都圏のお客様  
が三件（午前中指定が一件、時間指  
定なしが一件、一六時〜十八時指定  
が一件）、近畿圏のお客様が一件（午  
前中指定）でした。特に後者のお客  
様のご住所までは群馬県富岡市から  
片道五〇〇キロ以上、時間で六時間  
以上はかかる場所でした。

とにかく、出荷漏れを発見してす  
ぐに、赤城屋の自動車二台で、首都  
圏と近畿圏に分かれて配送に出発し  
ました。首都圏のお客様には、ご指  
定の時間どおりに商品を配達するこ  
とができました。他方、近畿圏のお  
客様には、午後三時に漸く商品をお  
届けできましたが、約三時間の遅配  
となつてしまいました。赤城屋の商



品をご注文くださったお客様、お取  
引いただいている大手企業様には多  
大なるご迷惑をおかけしまして、大  
変申し訳ございませんでした。

我々は、当初、今回の失態は、普  
段どおりに業務を遂行していれば発  
生することはあり得ないはずだと考  
えていました。しかし、このような  
考え方自体が何より「過信」であり、  
今回の失態を生んだ大きな要因であ  
ることに思い至りました。

普段どおりに業務を遂行してい  
るつもりでも、慣れや注意力低下な  
どにより、見落としや確認漏れ等の  
エラーが発生するリスクは常にあり  
ます。赤城屋では、そのようなヒュ  
マンエラーを極力発生させないよ

うな仕組み作りに取り掛かりました。  
まず、赤城屋では、受注・出荷管  
理データベースの作成・運用を開始  
しました。これまでは、商品ごとの  
受注数量を把握するのは紙ベースの  
受注管理表を、出荷日ごとの数量を  
把握するのは紙ベースの出荷管理表  
を、それぞれ手書きで作成し運用し  
ていました。しかし、情報をアップ  
デートするときには手書きで書き込む  
ため、数字が判読しにくかったり、  
どの情報が最新なのかわかりにくか  
つたりという問題がありました。

このため、受注日、商品名、配送  
指定日時、商品出荷日、熨斗の有無  
等の情報を入力したり訂正したりす  
ることを一つのインターフェースで  
実施し、別に作成した受注管理表と  
出荷管理表を開けば、自動計算がス  
タートし、当  
該日の受注数、  
出荷数が出力  
される「受注  
出荷管理デー  
タベースシス

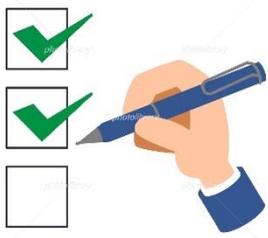




テム」を  
自前で作  
成しまし  
た。これ  
は八月一  
日から運  
用を開始

しています。このシステムにより、商品ごとの受注日、配送指定日時、出荷日等を一元的に管理できるようになりました。

また、「受注出荷管理データベースシステム」の出力情報と、実物の伝票帳票を、別の担当者がチェックするとう、受注段階でのダブルチェック体制をとりました。さらに、出荷場において出荷日ごとに伝票を仕分ける段階で、受注段階でダブルチェックしたデータベース情報と伝票帳票を最終的にチェックするとい



う、トリプルチェック体制をとりました。この仕組みを

導入したことにより、第一段階でエラーが発生したとしても、第二段階、第三段階でエラーがチェックされ修正されるようになりました。現在まで出荷ミスは発生していません。しかし、我々は決して忘れません。『慣れ』というのは怖いもので、慣れれば慣れるほど、大丈夫だと思えば思うほど、そういうときにこそミスは発生するのです。好事魔多し、常に緊張感をもって、赤城屋の商品を取り引きしてくださっている大手ギフト通販会社様、大手百貨店様、個人のお客様を失望させないように、今後も誠心誠意取り組んでまいります存です。



◇ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ◇  
**地域生活を支えるグループホームの暮らし**  
 ～暮らしに必要なサービスとお金～

柳沢 赴

障害者の人たちの暮らしに必要なサービスとその料金について、グループホーム学会の調査（2018年3月生活実態調査報告）をもとに整理したデータと、我々水土舎のケースを比較しました。下表です。水土舎の場合、本人から徴収する家賃負担額や、食費、光熱費、日用品費といった生活費が相対的に少ないことがわかります。月ごとの生活費は水土舎の場合は5万円前後です。

また、水土舎のグループホームの暮らしに必要なサービスとその料金を整理してみると、家賃や家事はもちろん利用料で賄われますが、その他に通院、買い物、送迎、金銭管理など生活上の諸々の事柄のほとんどは無料で実施されています。グルー

プホーム学会の調査では、障害者の月の生活費が約十万円かかっているということになります（左図参照）。

月ごとの生活費（GH学会の2018年の調査の平均値と水土舎の比較）

生活費	GH学会調査	水土舎の場合
家賃個人負担平均(本人徴収)	21,549円	3,500円
食材費	20,409円	19,500円
水光熱費	10,266円	14,500円
日用品費	3,869円	
その他の日常生活費	5,468円	10,000～15,000円
個人的な生活費&小遣い	34,100円	
合計	95,661円	47,500～52,500円

さて、前述のグループホーム学会の調査によると、毎月の障害者の収支は「収入と支出がほぼ同じ」が33.1%、「少し余裕があり貯金が出る」が37.4%、「支出超過、預貯金を切り崩している」が11.4%となっています。貯金が出るという回答

月ごとの収支(グループホーム学会2018年の調査より)

カテゴリー	回答数	割合	除無回答
収入と支出がほぼ同じ	7,477	33.1	40.4
支出超過、預貯金を切り崩している	2,577	11.4	13.9
少し余裕があり貯金が出る	8,453	37.4	45.7
無回答	4,087	18.1	
全 体	22,594	100	100

が最も高いものの、わずかに4%の差で、収支が拮抗し、貯金に回す余剰が無いという人が続いています。この人たちと支出超過と回答した人たちとを合わせると44.5%であることから、回答者の半数近くが、余裕のある生活を送っているわけではないことが窺えます。

グループホームでしばしば徴収される費用に、金銭管理料、貴重品預かり料、暖房費、冷房費、送迎支援費などがありますが、その実態は藪の中、県も放置したままです。福祉の諸活動を、ゼニカネの側面から見ていくと、その法人の支援哲学の根っ子にある考え方や、その法人の聖人君子面の裏の実像が浮き彫りされてきます。

ちなみに、水土舎のグループホームに入居しているAさん(男性・支援区分4・知的B中・年金二級)は、水土舎のグループホームを利用して二十年経ちますが、二千万円以上の貯金がありました。

また、Bさん夫婦(夫婦とも知的障害あり・支援区分2・障害程度中度・年金二級・子供(小1)一人)も、夫婦あわせて二千万円以上の貯金があります。このほかにもGHと施設を利用している人たちの内、水土舎が金銭管理を任されている人たち(平均年齢は38歳)の貯金額の平均は六百七十万円超になります。

水土舎には、現在9つのグループホームがあります。利用者の皆さんが自立を目指し、地域において共同して日常生活を営むことができるよう、グループホームにおいて利用者の皆さんの状態・状況に応じて、必要な生活支援を行っています。水土舎のグループホームは利用料が安く、また、無料のサービスが多いため、利用者の人たちの負担金が少ないので貯金ができるのだと思います。

障害をもつ人たちに、彼らの安心・安全が担保された住環境と、生活するうえで必要な物品やサービスを格安あるいは無料で提供し、障害をもつ人たちの親亡き後に備えつつ、できるかぎり地域で自立した生活が送れるよう、我々として何ができるのかということを中心に考え、実践して行きたいと思っています。

◆余談◆

「福祉は儲かる商売なのか？」

最近、障害者のグループホーム事業に新規参入しませんかという記事を見かけます。グループホーム経営



というのはそんな

なおいしい商売なのでしょう。『障害者 グループホーム 経営』とウェブ検索してみてください。「儲かるよ」という宣伝がごまんと簡単に見つかります。

例えば、『未経験から年商1億円以上も可能!障害者グループホーム、オンラインセミナー、社会貢献をしながら、毎月100〜300万円を得られる。ビジネスオーナーになりませんか?』という記事。

社会福祉法人におけるグループホームの運営は、お金の流れを追いかけていくとよく見えてきます。経費の細目に目を通し、 unnecessary な必要経費や本来グループホームのサービスに含まれるべき経費が徴収されていないかなど検討してみてください。しかし、業(なりわい)としての

グループホーム経営は、おいしい話が満載で、障害を持つ人たちの地域における自立生活のサポートよりも、ビジネスとして儲ける・儲かる商売として紹介されており、障害者が正に商品と見做され取引されている実態が浮かび上がります。

社会的弱者を商品とみなす視点。切磋琢磨してより良い福祉支援やサービスを戦わせ、利用者さんの利益になるような市場原理が働く公正な競争とはほど遠い現実が炙り出されてきます。年金と、わずかな工賃で生活する人たちから、さらなる搾取を断行しようとするハイエナ根性、これは(残念ながら今はまだ)障害者が社会的弱者である(とみなされている)だけに、看過できない問題だと考えます。ここに紹介したような営利目的のグループホームビジネスは、障害者を踏み台にした金儲けであって福祉事業とは言い難いと思います。少なくとも金儲け臭が芬々としているクサイ事業であることは間違いありません。

グループホームでの暮らしに必要なサービスと料金等

生活技術	入居者のできる、できない	支援可○、不可×	料金
食事の用意、摂食行動		○	グループホーム利用料に含まれる
特食、特別形状、		○	グループホーム利用料に含まれる
掃除、部屋の片付け		○	グループホーム利用料に含まれる
風呂、作る。体の洗浄。	必要に応じ、全介助も可。	○	無料
金銭管理(無料)主に施設側。	出来ない	○	無料
通院(夜間含む)	出来ない	○	無料
貴重品管理	出来ない	○	無料
通院必要に応じて看護師派遣	出来ない	○	無料
ヘルパー等の派遣相談	出来ない	○	無料
車椅子の人	支援可。現に車いすの利用者一人が入居中。		
訪問看護	施設で受けている	○	無料
買い物	場合によって連れて行く(無料)。移動支援を使うこともある	○	無料
送迎(就職者も含む)、世話人や夜間さんでなく別の運転手さん。	送迎してもらう(就職者は会社まで)無料	○	無料
教養娯楽(移動支援による)、	移動支援者に支援してもらう	○	無料
洗濯、乾燥、取り込み	中にはできる人もいる	○	無料

※暮らしに必要な力について、GH側から要求することはない。少しづつ覚えて行ってもらおう。

参考:GHに入居困難な人の例(これまでの水土舎の例)

- ① 窃盗等の反社会的行為や反道徳的逸脱を繰り返し、反省がない人。警察沙汰になる人。
- ② 暴力行為が激しく、世話人さんや夜間さんでは抑えられない人。警察沙汰になる人。
- ③ 逃亡が癖になっている人。落ち着きどころは閉鎖のある入所施設。
- ④ パニックが激しく、自傷や他害が収まらない人。
- ⑤ ワガママ放題で、他に迷惑をかける人。

# 二〇二〇年の水土舎の行事を振り返って

渡邊 純子

一年が過ぎるのは早いもので、もう「クリスマス・年越しそば・お正月」の季節になりました。今年はとにかく、多くの日本国民が新型コロナウイルス感染情報と感染予防対策に神経をとがらせた一年だったと思います。

水土舎では、例年、春の田植え祭りを、(株)IHI、地域住民、保護者の皆様に参加いただいで開催してきました。



しかし、今年にはIHI様が新型コロナウイルス感染予防対策のため参加できないというこ

ともあり、六月十七日の平日に開催し、水土舎(通所多機能型施設)とムゲン(通所生活介護施設)の利用者さんとそのご父兄、職員で執り行いました。



七月中旬から八月中旬にかけては、水土舎のブルーベリー摘果は佳境を迎えました。例年、水土舎では約千二百キロ(二トン)を収穫します。今年も、日頃からお世話になっている近隣の特別支援学校、特別支援学級等にお声掛けし、コロナ禍で外出を制約せざるを得ない子どもたちがブルーベリー狩りを楽しんでもらえるようにと、参加希望を募りました。水土舎のブルーベリー園は広大なので三密になることはありませんが、一日一団体としました。今年も、富岡市立吉田小学校様、富岡市立妙義中学校様、放課後等デイサービス・カラフル甘

楽様の児童・生徒と教員・指導員等がご参加してくださいました。摘果したブルーベリーはお持ち帰りいただき、また、ブルーベリージャムと、ご家庭等でブルーベリーのジャムづくりにチャレンジしたい方のためのレシピをお分けいたしました。皆様、楽しんでいただけたならば、水土舎としても大変うれしい次第です。

秋の稲刈り祭りは、十月十七日の土曜日に開催しました。春の田植え祭りと同様に、水土舎とムゲンの利用者さんとそのご父兄、職員で実施しました。十一月に脱穀を行い、三俵強の成果でした。

また、例年ですと、利用者さんと一緒に、大なり小なりの旅行に行っていました。今年もコロナ禍で旅行ができず、利用者さんには残念な思いをさせてしまっています。そのような中でも、利用者さんたちは、今の状況を理解し(理解しようとし)、日々の生活のなかで、少しでも楽しみや達成感を得たり、ストレスを抱え込まないように自分なりに努力し

ている姿が見られます。年末に、クリスマス会&納会を開催する予定です。二〇二〇年最後の行事です。みんなでおいしいケーキを食べながら、二〇二〇年を振り返りたいと思います。



【編集後記】S子の思い出・山河微笑



朝まだき、東の空がようやく白々と明け染めるころ、臨時キーパーソンの私の携帯が鳴った。表示は富岡総合病院、覚悟を決めて電話に出る、案の定だった。予め調べておいたタクシー会社に電話。母親を連れて来てもらおうとするが、いずれもタクシーは出払っていた。意を決して二十五キロの道を走り、途中お妹御を拾い、母親の待つ実家へ急行。翻って直ぐに緩和病棟へ。

はないが明らかに分かっている。声のないお妹御が手を握り、優しく擦る、大きな息遣いでこの呼びかけにも応じる、妹に首をもたげようとする懸命な気配が伝わってくる。

本人は最後の呼吸に入っていた。僅か十日前に試験退院し、グループホームで二泊したのが、思えば娑婆の生活の最後だった。本人は母親の呼びかけに大きな息で応える。僅かに体が母親に傾いだように感じた。応答

二時間、私は「心配ないよ、大丈夫だよ、安心して」と声をかける。逝こうとしているS子への手向けと、爾後の家族のことは任せとけ、という二重の意味を籠めている。病室へ着いて二時間半、朝の九時を過ぎた頃から呼吸が深くなり、間遠になり、最後の呼吸は九時三十五分だった。大きく口を開け、目は虚ろに開いており、苦しそうな顔をしていた。医師の死亡宣告は九時四十八分。

さらに広大無辺に深まっていた、S子笑っているよ、皆がそう感じ、言葉にした。三十七年の短い生涯だった、我々支援者側には、早くいい人を見つけてくれ、という母親の願いも叶えられず、やり残してしまったS子への支援の如何に大きいことか、それが側々と胸に迫る。しかし、S子のほほ笑みで、われらの罪のすべてが贖われたような気になった、我々職員のだれもがそう感じた。こうしてS子は仏性と神性を身に纏い、大慈大悲観世音菩薩となつて旅立った。S子ありがとう、多くの思い出が記憶に刻まれている。ご冥福を祈ります。



三人は服装を直すので退出するように促され、五分、戻ってきてみて驚くことになる。S子が微笑んでいる、つくづく眺めたが明らかに微笑だ、先ほどもまでの山河慟哭が、死線を越えた途端に山河微笑に代わっている、森羅万象を包み込むような仏道無上誓願成の微笑である。この微笑は葬儀の日の最後の別れの時、

合掌

\*\*\*\*\*  
編集 知的障害者授産施設水土舎  
編集人 代表 金谷透  
印刷 水土舎印刷室(無断転載禁止)  
発行 特定非営利活動法人障害者団体  
定期刊行物協会・東京都世田谷区祖師谷三の一の十七の一〇二  
一部百円、年間購読料四百円(送料込)